

神奈川県厚木市



コミュニティ

コミュニティ名：厚木市

国：日本

コミュニティの人口：225,133人（2015年1月1日現在）

セーフコミュニティプログラムを開始した年：2008年

国際セーフコミュニティネットワークメンバーシップ

認証年：2010年、2015年

セーフコミュニティ支援センター：（一社）日本セーフコミュニティ推進機構

認証審査員：2010年：チョ ジュンピル氏、パイ ル氏

2015年：グールドブランド シェーンボリ氏

共同認証審査員：2015年：チョ ジュンピル氏

プログラムに関する情報が得られるウェブサイトの有無：有

(<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/shiminbenri/anshinanzen/safecom/index.html>)

詳細に関する問い合わせ

名前：井上 憲正／梅落 秀一／上野 進／佐藤 裕己

組織：厚木市危機管理部セーフコミュニティ推進課

住所：神奈川県厚木市中町3-17-17

郵便番号：243-8511

自治体名：厚木市

国名：日本

電話番号（国番号を含む）：+81-46-225-2865 ファックス：+81-46-221-0260

メールアドレス：3500@city.atsugi.kanagawa.jp

コミュニティや組織の情報を得られるウェブサイトの有無：<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/index.html>

取組は、以下の活動をカバーしています。

領域		子ども (0～14 歳)	青年 (15～24 歳)	成人 (25～64 歳)	高齢者 (65 歳以上)
不慮の要因	家 庭	8	7	10	8
	学 校	26	11	—	—
	職場・労働	—	9	9	9
	余 暇	7	6	9	9
	交 通	17	16	14	10
意図的要因	暴力・犯罪	27	29	27	26
	自 殺	5	8	8	8
自然災害	災 害	16	16	17	17

各領域の主な取組

○不慮の要因

家庭

転倒予防のための運動活動 (A)
 転倒予防のための運動の普及啓発
 セーフティ住宅支援
 危険予知トレーニング (B)
 こんにちは赤ちゃん訪問事業
 健康相談ダイヤル 24 など

学校

自転車マナーアップキャンペーン
 自転車安全教室 (スケアード・ストレート教育技法) (C)
 交通安全教室
 民間交通監視所
 ヘルメット着用運動
 危険予知トレーニング (B)
 愛の目運動 (D)
 かけこみポイント



インターナショナルセーフスクール (ISS) の取組 (E)

通学路の危険箇所点検

防災引き渡し訓練 など

職場・労働

安全衛生パトロール

市内中小企業向け安全衛生研修会

体験型労務安全衛生研修 (F)

災害情報等掲載事業

救急マーク認定制度 など

余暇

転倒予防のための運動活動 (A)

転倒予防のための運動の普及啓発

危険予知トレーニング (B)

救急マーク認定制度

児童館における安全対策及び環境改善 【子ども】

救命講習 (AED講習含む) など

交通

高齢者の交通安全教室 (G)

自転車マナーアップキャンペーン

自転車安全教室 (スケアード・ストレート教育技法) (C)

交通安全教室

民間交通監視所

自転車走行環境整備

ヘルメット着用運動

自転車・二輪車街頭点検

道路危険個所の修繕

チャイルドシート推進事業 など

○意図的要因

暴力

本厚木周辺パトロール (H)

防犯灯設置・維持管理

青色回転灯搭載車の地域パトロール (I)

愛の目運動 (D)

かけこみポイント

次世代防犯活動推進

移動番屋

要保護児童対策協議会

高齢者虐待の相談 など

自殺

自殺予防キャンペーン

メンタルヘルスチェックシステムの活用

自殺対策研修

臨床心理士による健康相談

自殺予防対策庁内連絡会 など

○その他

自然災害

防災無線情報の配信

テレフォンサービス

災害時通訳ボランティア育成事業

総合防災訓練 など



ハイリスクグループに対する取組

○不審者遭遇事案の割合が高い小・中学生女子

- ・愛の目運動
- ・かけこみポイント
- ・ケータイ SOS ネット
- ・防犯ブザー配布
- ・危険予知トレーニング
- ・市立清水小学校及び睦合東中学校の ISS の取組
- ・通学路の安全対策協議会
- ・青色回転灯搭載車を活用したパトロール
- ・本厚木駅周辺パトロール
- ・街頭犯罪対策事業
- ・防犯灯設置事業及び照度アップ事業
- ・地域安全マップ作成事業

○自転車事故の発生割合が高い若年層（高校生）

- ・自転車マナーアップキャンペーン
- ・スケアード・ストレート教育技法による自転車安全教室

○自殺による死亡者数の割合が高い 30～50 歳代の成人男性

- ・こころの健康相談
- ・自殺予防キャンペーン
- ・自殺対策研修
- ・メンタルヘルスシステム「こころの体温計」

○交通事故の発生割合が高い高齢者

- ・高齢者交通安全教室
- ・自転車用ヘルメット購入費助成事業
- ・運転免許証自主返納の呼びかけ

○転倒によるけがの割合が高い高齢者

- ・運動器の機能向上事業
- ・転倒骨折予防教室
- ・セーフティ住宅支援事業
- ・高齢者バス割引乗車券（かなちゃん手形）購入費助成事業
- ・転倒予防のための普及啓発活動



外傷サーベイランスは：

どこで？：厚木市内

年間件数：外傷人数 22,584 人（出典：2014 年 安全・健康・コミュニティに関する調査から算出）

外傷による死亡人数 131 人（出典：2013 年 人口動態統計）

救急搬送件数 2,981 件（出典：2014 年 救急搬送データ）

人口基盤：225,133 人（2015 年 1 月 1 日現在）

開始年：2009 年

出版

- ・広報紙「広報あつぎ」
市の広報紙において、セーフコミュニティの活動などを紹介する記事を掲載しています。
- ・チラシ
セーフコミュニティの理念や本市のセーフコミュニティの取組を紹介するチラシを作成し、市内全域で配布しています。
- ・ホームページ
本市のセーフコミュニティの取組や他市の動向などをホームページに掲載しています。
- ・駅前ビジョン
本市のセーフコミュニティの取組の紹介、成果などを広く紹介しています。

スタッフ

リーダー：井上 憲正

人数：6 人

職業：市職員

非常勤か常勤か：常勤 4 人、非常勤 2 人

正規雇用：4 人

非正規雇用：2 人

組織

安全向上のための特定の分野横断的組織：厚木市セーフコミュニティ推進協議会

一般的公衆衛生・健康増進のグループ：厚木保健福祉事務所、厚木市健康医療課、健康づくり課

国際的コミットメント

後進コミュニティへの視察の企画：

本市のセーフコミュニティ現地審査の公開、随時視察の受入



セーフコミュニティ会議への参加：

- 2008.10 第17回セーフコミュニティ国際会議（ニュージーランド クライストチャーチ）
- 2009.10 第5回アジア地域セーフコミュニティ会議（中国 北京市）
- 2010.3 第19回セーフコミュニティ国際会議（韓国 スウォン市）
- 2011.9 第20回セーフコミュニティ国際会議（スウェーデン ファールン）
- 2012.11 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議（東京都 豊島区）
- 2014.5 第7回アジア地域セーフコミュニティ会議（韓国 釜山市）

セーフコミュニティ会議の主催：

- 2010.11 市民安心・安全フェスタ 2010 in あつぎ
- 2013.10 ISS シンポジウム IN ATSUGI

その他：

2011年11月、日本国内のセーフコミュニティを推進する自治体が相互の連携と情報共有を図ることを目的に、「全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議」を設立しました。

設立当初の参加自治体は9自治体でしたが、現在では15自治体にまで数が増えています。会長は厚木市長が務めています。